



## お知らせ

記者発表資料	平成25年10月30日
配布日時	14:00

■ 同時発表先：島根県記者会

# 災害時等の被災状況把握を行う災害対策用機械・機器 “気球空撮システム”による気球の浮揚及び空撮の実施

中国地方整備局では、自然災害等発生した場合に速やかに被災調査・応急対策・情報連絡・復旧作業などの災害対応を行うため、各種災害対策用機械・機器を配備しています。

境港湾・空港整備事務所では、災害時における被災状況の把握や海上流出油の拡散状況の確認などを簡易で迅速かつ低コストで行う手段として、“気球空撮システム”を災害対策用機械等として配備しています。

今般、災害が発生した場合、又は発生する恐れがある場合において、被災状況の把握や応援対策の支援などの対応を迅速かつ的確に実施していくうえで、平常時から自治体との情報交換及び連携を深めていくことを目的として、当所が保有する気球空撮システムの概要や活用方法などを自治体等の防災担当関係者に紹介するとともに浜田市にある浜田港において、気球の浮揚及び空撮を実施します。

### 記

1. 日時：平成25年11月1日 10:00～11:00
2. 場所：浜田市熱田町地先（浜田港福井地区3号岸壁）

※気球打ち上げ場所は立入制限区域内となっておりますので、取材予定の報道関係者の皆様は、福井ゲート（LIB前）で入場者の氏名、入場目的を記帳の上、警備員に本人確認できるもの（身分証明書等）を提示いただくことで入場できます。なお、混雑状況によりますが、手続きに多少時間を要しますので、あらかじめご了承ください。

“気球空撮システム”の詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo/intro/anzen2.php>

### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所  
(0859)42-3145(代表:平日・昼間)

副所長：佐々木 高雄(ささき たかお)

港湾保安調査官：椋原 正輝(むくはら まさてる)

# 気球空撮システム訓練実施箇所

住所：浜田市熱田町地先  
(浜田港福井地区3号岸壁)

浜田港



# 気球空撮システム（簡易空撮システム）

中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

気球空撮システムは、平常時においては防災訓練や工事、調査等に活用し、自然災害等の災害が発生または発生するおそれのある場合においては被災状況など現地情報の把握及び事態対処や被災後の応急復旧を適確且つ円滑に遂行するために災害対策用機械機器として使用されるシステムです。

本システムは、ヘリウムガスを注入した気球にデジカメを取付け浮上させ、地上からリモコンおよびパソコンによる操作を行い、上空から撮影した現地状況の画像を携帯電話網等により即時に関係者へ画像伝送を行うことにより、迅速な状況把握が可能なシステムです。

また、「誰でも・どこでも使えるシステム」を目標に開発しており、操作には特別な免許が不要で、職員自らが操作を行うことが可能なため、従来の空撮（航空機）と比較して安価で撮影可能です。



## 使用条件

- ・必要作業員数 **3人(オペレーター1名+補助作業員2名)**
- ・高度(航空法による制限) **航空路下:150m 航空路外:250m**
- ・気象条件 **雨天時は原則使用禁止、夜間は撮影不可 風速15m/s以下**
- ・ヘリウムガス **約3.5m<sup>3</sup>のヘリウムガスを使用**
- ・設置条件 **電線などの障害物がない場所で浮上させること**

## ＜主要撮影機材＞

気球  
(L=5.7m × φ1m)



## 撮影用デジカメと架台



カメラ架台が旋回・俯仰する

## カメラ操作パソコンとリモコン



## 気球空撮システム

迅速で安価に  
広範囲の調査が可能



**人力**による調査  
局所的な詳細な調査  
には向いているが、  
広域的・面的な状況把握は不向き



## 無人ヘリ

広域の把握が可能  
1回のフライトで  
15万円くらい



約10日間の講習を受け、  
農林水産省航空協会の  
「産業用無人航空機操縦  
士技能認定証(免許)」を  
もらう必要がある



## 有人ヘリ

広域の把握が可能  
1回のフライトで35万円くらい



ヘリコプターの  
オペレーターと  
写真を撮影する  
要員が必要



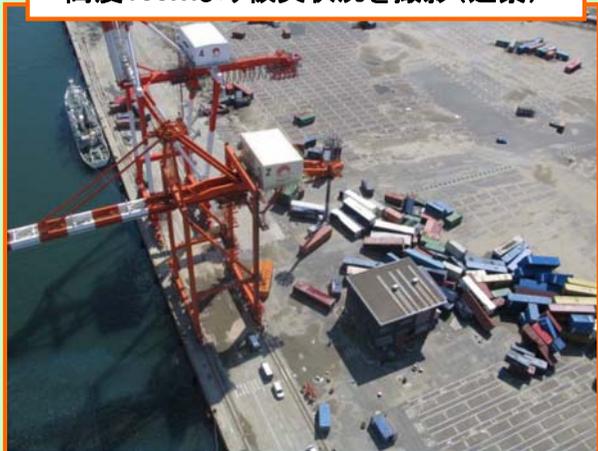
# 気球空撮システム（簡易空撮システム）

## <撮影画像>

仙台塩釜港  
(仙台港区)



高度100mより被災状況を撮影(近景)



高度100mより被災状況を撮影(遠景)



広範囲の被災状況を瞬時に把握できる（作業は1時間くらい）

沖防波堤の様子



新日本石油精製の様子



-12m岸壁  
(仙台飼料付近)

参考  
松島港の被災状況

人力にて被災調査

(広範囲の把握はできず)

